


 第9号
 平成24年3月1日発行

 特定非営利活動法人
 キャリアサポートネットワーク
 千葉県船橋市緑台 1-3-1-304
 TEL : 047-440-1790
 http://www.cs-network.jp

CSN がキャリア教育への突破口に

～2011年の活動を振り返って～

東日本大震災、EUの経済不安の影響で日本の経済の先行きは不透明のままで雇用の回復に大きな影響を及ぼしています。文部科学省が2月17日に発表した12月末現在の高校生の就職内定率は80.4%、大学生は1月17日発表12月1日現在で71.9%となっており相変わらず厳しい就職活動が続いています。

2011年、CSNは小学生に対して職業人インタビュー授業、高校生に対して就職・進路相談、面接指導、進路ガイダンスなど、社会人に対して履歴書・職務経歴書の作成支援、面接対策などの講座を受託し活動を行ってまいりました。

小学生に対しての職業人インタビュー授業で考えさせられたことは、子供たちが将来はこのようになりたいという希望と好奇心に満ちた表情を高校生、大学生、社会人になっても持続していくにはどのような支援をしたらいいかということです。小学生にとどまらず中学生、高校生、大学生に対する職業人インタビュー授業が必要ではないかと考えます。

キャリアサポートネットワークとして若いこれからの人たちに夢と希望を持ち続けるにはどのような心構え、情報、などが必要か支援をしていきたいと思えます。

キャリアサポートネットワーク
 代表理事 川端 康生

■2011年活動報告

- 1月～3月 早稲田社会教育センター 事務職就職支援講座
- 3月 都立竹台高等学校 進路ガイダンス
- 3月～5月 早稲田社会教育センター 事務職就職支援講座
- 4月 麻生総合高等学校 進路ガイダンス
- 5月 都立多摩高等学校 進路ガイダンス
都立中野工業高等学校 進路ガイダンス
- 5月～2012年2月 松戸馬橋高等学校 進路相談
キャリアカウンセラー派遣
- 6月～11月 早稲田社会教育センター 事務職就職支援講座
- 6月 都立本所高等学校 進路ガイダンス
農産高等学校 面接指導
- 7月 都立葛西工業高等学校 面接指導
藤沢西高等学校 進路ガイダンス
- 9月 都立葛西工業高等学校 面接指導
千葉市立みつわ台北小学校 職業人インタビュー授業
白山高等学校 進路ガイダンス
千葉市生涯学習センターセカンドキャリア講座
- 10月 都立六本木高等学校 面接指導
土気高等学校 職業人講話
- 11月 KTC中央学院 面接指導

2012年も引き続き、高校における就職・進路相談、面接指導、進路ガイダンス、若年層から中高年への就職支援講座など多面的に活動していく予定です。



☆ 職業人インタビュー授業 ☆

昨年9月15日、千葉市立みつわ台北小学校にて、同校教諭 齋藤亮介先生、小泉尚子先生からの要請により職業人インタビュー授業を行ってきました。

対象は、6年生の2クラスで、1クラスずつ職業人へのインタビューを4名1グループになって行いました。



同校では夏休みの期間、家族や周囲の大人たちに、職業についての研究課題を行っており、その成果をさらに発展させるための一環として、この日の職業人インタビュー授業を通じて、より仕事のやりがい、楽しさ、あるいはつらさなどを聞くことによって、自分たちの将来を考えるというものです。



CSNからは、川端康生、岡田昇、笠原路子、土井恭子、大島啓孝、堤禎章、小山田香織、中尾昭男、萩原隆夫の9名が職業人としてインタビューを受けました。

それぞれのこれまでの仕事経験から、小学生にとってなるべくイメージしやすいように、ある一定の時期に焦点をあてつつ、仕事の醍醐味、おもしろさなどを間近で語ってきました。

中には、化学薬品など一見、身近には感じられないものでも、実はいろいろなものを通じて、日常生活にもかかわる、そんな仕事の楽しさを、子どもたちが夢中になって聞いているのが印象的でした。

■生徒の感想文から

みつわ台北小学校 6年1組の生徒の皆さんより、全員の感想文を文集にして送っていただきました。全員は紹介しきれませんが一部の生徒さんの感想文を紹介させていただきます。



この前はどうもありがとうございました。今回の総合の授業、当日の前に先生に聞いた時は、少し驚きました。実際あってみてきんちょうもしたし、とまどったりもしました。

でも、それ以上に、笑ったり勉強になった事のほうが多いように思います。社会人になったとしても、この出来事はきっと忘れません。キャリアアドバイザーのみなさん、本当にありがとうございました。

6年女子

先日は色々な仕事について教えてくださってありがとうございました。

私は、仕事などやることは同じだろうと簡単に思っていました。しかしみなさんの話を聞いて、仕事の内容もちがうし、色々な仕事につくには苦労をしてやらなければいけないものもあって仕事はとても、大変だけど大切だということを感じました。私は、このことを忘れずに自分のなりたい職業にあきらめずに取り組んでいきたいです。

6年男子

先日は、仕事についてくわしく教えてくださってありがとうございました。

ぼくは、仕事は大変な事、楽しい事も両方ともあることがわかり、仕事のやりがいを質問したところ、何かをやりとげたときの喜び、と答えてくださった方が多かったので、印象が残っています。ぼくは、これからキャリアアドバイザーの方に教えてもらったことを生かしていきたいです。

6年男子



☆☆☆職業人インタビューを終えて☆☆☆

千葉県立みつわ台北小学校教諭

小泉 尚子

学習に入る以前、子どもたちに「仕事」に対するイメージについて尋ねると、「上司に怒られる」「クビになる」「倒産する」「フリーター」「不景気」などのマイナスイメージが多く、仕事に対してはよいイメージよりも、マイナスのイメージのほうが強いという子がほとんどでした。子どもたちはニュースから聞こえる言葉や、普段見ているドラマなどからそれらの情報を仕入れ、仕事に対して悪いイメージを膨らませているようでした。

中には、「サラリーマンだけにはなりたくない」と話したのもいて、その理由を尋ねると、「サラリーマンは不景気になればクビになる。倒産するかもしれないし、上司にも怒られる。」というのです。しかし彼は、サラリーマンと一言で言っても、多種多様な職業があり、それぞれに苦勞があり、それぞれに喜びがあって、大人たちが働いているということを知らずに、テレビの中の「疲れた大人」を見て、そうなりたくないと思っていました。

今の子どもたちの中には「将来〇〇になりたい」という夢をなかなか持てない子が多くいます。この子どもたちの意識をどうにか変えてあげたい、「自分も将来働きたい！」と思えるような機会を、小学生のうちを持たせてあげたいという願いから、私たちはキャリア教育に取り組みはじめました。

その取り組みの足掛かりとしてCSNさんに「職業人インタビュー」をお願いし、今まで仕事をされてきた中で感じた喜びや、苦勞、やりがいを話していただく機会を設けました。当日は多くのアドバイザーの方に仕事の喜びや楽しさ、苦勞などを情熱たっぷりにお話しして頂いたおかげで、「仕事は大変なことばかりだと思っていたけど、楽しそうなこともたくさんあるんだと思った」「自分が知らないたくさん仕事があることに気付いた。もっと詳しく調べてみたい」などというような感想が出るなど、仕事に対する興味・関心を高めることができました。

このインタビューをきっかけとして、学級で仕事についてみんなで考える活動を続けています。インタビューの中から大切だと感じたこと話し合いをしたところ、「自分の興味関心を大切にすること

と」や「人とのつながりを大切にすること」「あきらめられないで頑張ること」など、将来仕事に就くとき、仕事をしていく中で大切なことを子どもたち自身で見つけることができました。また児童の中から出た疑問を題材に「なぜ働くのか」についての話し合いを行ったところ、「生活していくためにお金を稼ぐ必要がある」という意見から、「人のため、社会のために働く」という意見や「自分自身の成長のため」「やりがいをかんじるため」というように、多様な意見を出し合い仕事に対してのイメージを広げることができました。

このようにキャリア教育を始める前と、今では、仕事に対する児童のイメージや思いが随分と変わってきています。「早く働きたい」「仕事するって大切なんだな」というように、肯定的な意見をもつようになってきたことは、大きな成長です。今後の学習では自分の興味のある仕事について詳しく調べ、将来の夢へ向かって自分がどのような道を進んでいくのかを考える授業を予定しています。もちろん今の子どもたちの夢が現実になるとは限りません。しかし、今、自分の将来のためにすべきことを考えることで、高校生、大学生に彼らになったとき、自分が進む道を自らしっかりと考える力へとつながっていくのではないのでしょうか。

キャリア教育を小学校で行っている学校はまだまだ少なく、人材の確保が難しいことや教材準備の問題等、大変な面も多々あります。しかし、高校生でも大学生でもなく、小学生から仕事に対するイメージを広げ、自分の将来について考えていくことは、大切なことではないのでしょうか。

参加したキャリアアドバイザーの感想-

小さな体にみな夢を持っていて、話をするのが楽しかったです。何か少しでも心に残ってくればと思います。 笠原

小学6年生が親の仕事聞いた後、我々社会経験者にインタビューするこの授業は6年生の将来に繋がり楽しい授業でした。 萩原

担任の先生方がキャリア教育の重要性をよく理解し、非常に熱心に生徒達を指導している、そしてこの指導に熱心に答えている生徒達の態度が素晴らしいと感じました。 岡田

Message from CSN Member

第9回 土井 恭子

1. CSN との出会い

キャリア・カウンセラーの資格取得をきっかけに「今後は何か地域のお役に立てる活動がしたい」と思っていました。そんな時、CSNのホームページを見つけ、「千葉県人の千葉県人のためのキャリア支援」という言葉に興味を持ちました。キャリア・カウンセラーの集まりでCSNメンバーと出会う機会に恵まれ、勉強熱心で温かいメンバーの方々との交流を通して入会を決めました。



2. 若者とキャリア教育について

私は若者に関わるすべての大人がキャリア教育の担い手だと思っています。社会情勢は激変し、若者が前向きに自分のキャリアを考えることは難しい側面があるかもしれません。しかし、そんな時だからこそ周囲の大人が生き生きと自分の人生を歩いていく姿を見せていくことが大事なのではないでしょうか。人生は山あり谷あり、仕事も楽しいことばかりではないけれど、失敗や辛いことを乗り越え人は成長し、やりがいを見つけ、自己実現をしていくことを経験から伝えていきたいと思っています。

3. 今後の活動について

今年はキャリア・カウンセラーの資格を取得し5年という節目を迎えます。縁あって私のところに来て下さった相談者の方が心豊かなキャリアを歩んでいくお手伝いができるよう、知識やスキルの上昇に努めたいと思っています。

また、CSNメンバーとして若者と触れ合う機会を増やしたいと思います。先日、ある小学校の先生が「今の子どもたちは大人とのコミュニケーションが大いに不足している」と仰っていました。CSNには様々な豊かな経験をしてきた大人がたくさんいます。若者と社会をつなぐ架け橋となれば幸いです。

<CSNイチオシの書籍>

「社会人基礎力育成の手引き～日本の将来を託す若者を育てるために～」

朝日新聞出版 経済産業省編集
 皆様もご存知の通り、文部科学省も経済産業省も子供達の進路をめぐる環境や教育を取巻く環境の変化に対して、若者の育成のために施策の中で「キャリア教育」を推進している。この手引きは「社会人基礎力」をテーマに「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の能力とその12の要素（社会に出てどのような仕事に就いても求められる必要最低限な能力）を実際の大学、高校、小中学校で教育のプログラムの中にどのように取り組んで育まれているのかを紹介してくれる。（記 大平）

編集後記：職業人インタビューは子供たちにとって新鮮な体験だったようですが、参加したCSNメンバーにとっても貴重な体験でした。自分の答えが子供たちの将来に大きな影響を与える可能性もあるので、夢を持てる言葉で回答しました。つらい仕事でも、喜び、やりがいがあることを実体験に沿って笑顔で説明した結果、それは子供たちの感想文に確かに反映されていました。

キャリアサポートネットワークの活動にご協力を

CSNでは、ここに掲載した活動以外にも、千葉県内を中心に活動を行い、また千葉県とNPOの協働事業へ提案するなど積極的に活動を広げていきます。活動に直接お手伝いいただける方だけでなく、事務処理など皆様のできることからご協力いただける方を募集しています。この『CSNだより』をお読みになって、興味を持たれた方、ぜひご一報ください。

■事務局 千葉県船橋市緑台1-3-1-304 TEL 047-440-1790/FAX 020-4662-2067
 MAIL info@cs-network.jp ホームページ <http://www.cs-network.jp>

